

確かな学力の向上

「授業がよくわかる」 A:60%へ A・B:98%へ
「読む力がつく」 A:60%へ A・B:98%へ

【確かな学力の定着と思考・判断・表現力の育成】

- 5つの学習マナーの定着
- ・チャイム前着席、返事、話の聞き方と話し方、授業の準備
- 朝の学習タイム、昼のスキルタイム、浅南スタディーウィーク
- 読解力の育成、そのための基礎学力が定着する授業をめざして
- ・導入の工夫・手立て(学びたくなる授業、本時のめあてを引き出すもの)
- ・読解力育成をめざした言語活動の充実(国語辞典、クロームブックの活用)
- ・ペア・グループでの伝え合い、児童の対話を重視していく学習
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実践
- ・ふり返り(自己の変容、学び方のよさを自分の言葉で書く)
- ⇒ 教科書の音読実践、学びの基礎となる読解力の育成へ

○情報活用能力の向上

- ・ICT機器、学習者用PC、デジタル教材の効果的活用

わかる・できる・身につく・活用できる力

【教職員の指導力向上、人材育成】 若手の活気、ベテランの働きがい

- 5つの学習マナーの定着 定期的なチェックと改善
- 読解力を高める活動、「もっと学びたいと感じる」授業をめざして
- ・低学年(1・2・3年)部会、高学年(4・5・6年)部会での研究授業・検討会
- ・効果的な音読学習、作文、対話など言語活動の基礎の研修会
- 一宮市教育センター研修、授業力アップ動画の視聴
- 教職員との校長面談、教職員の目標設定と想い・願いの確認
- 新聞記事による時事問題・教育問題の提示し、社会とのつながり
- 教職員の不適切な指導(教室マルチリトメント)の根絶
- ⇒ 「自己調整学習」「自由進捗学習」を視野に入れた研修の推進

確かな学力の向上(だれ一人取り残さない支援)

- CRT学力検査・全国学調の結果分析、学校評価アンケートの検証
- 学校ウェブサイトによる授業や学校行事の情報発信の工夫、広報
- インターネット環境を利用したオンライン授業の推進
- クラスルームを活用した担任と欠席者とのふれあい
- ⇒ 個に応じた、ふれあいサポートルームの新設に向けて

令和7年度 一宮市立浅井南小学校 グランドデザイン
伊藤 之一

教育目標

健康で、自ら学ぶ、心豊かな児童を育成する。

本年度の目標

自立・思いやり・感謝

～ 大人が協力すれば、子どもは必ずよくなる ～

めざす児童像

- ・よく考え、進んで学ぶ、かしこい子(頭をつかおう)
- ・きまり正しく、思いやりのある、やさしい子(心をみがこう)
- ・じょうぶで、たくましい子(体をきたえよう)

【校訓】

浅南子、
かしこく
やさしく
たくましく

地域・保護者との連携・協働
～ 信頼される学校づくり ～
保護者ボランティア活動の推進
授業補助、校外探検、登下校ボランティア、あいさつ運動、奉仕活動

業務改善・働き方改革の推進
～子どもとのふれあいを大切に～
～教職員自身のウェルビーイング～
C4+h、7-7 17788-6、tetoruの効果的な運用
在校時間管理(勤務時間への意識)、定時退校日の周知

思いやりの心、自他の命を尊ぶ心の育成

「学校が楽しい」 A:80%へ A・B:98%へ
「困った仲間を助けている」 A:80%へ A・B:98%へ

【豊かな心】

- 挨拶、会釈、言葉遣い、マナー、お礼など、日常生活に生きてはたらく力の育成
- 人権教育を重視し、児童会活動主体の「ふわふわ言葉」の推進と実践
- ペア活動(異学年交流)、浅南こどもニュース、委員会・クラブ活動での思いやる心
- 命を尊ぶ心を育む講演会、いじめ防止の授業、観劇会の実践
- 子ども同士が活躍を認め合える場の設定
- 教育相談活動の充実、子どもの心に寄り添う「あのねカード」「スクールライフノート」
- 情報ネットモラル教育の充実(自己の発する言葉への責任)
- 考え、議論する道徳科の授業の充実、人権教育の推進
- ⇒ 学年ごと教科担任制授業の推進による児童の人間関係の把握、教育相談の充実

【健やかなからだ】

- 体力の向上(「早寝・早起き・朝ごはん」の推進、外遊びの奨励)
- 安心・安全な生活の推進(交通安全、熱中症の予防、アレルギーへの対応)

自己有用感(仲間のために)・自己肯定感(ありのままの自分)を高める力

【教職員の働き方改革】 教職員自身の幸せ ウェルビーイングをめざして

- 教職員の研修・打ち合わせ・推進会議時間の確保 ⇒ B日課、5時間授業日の設定
- 意欲的な自己研修の遂行(児童の読解力向上、命を尊ぶ、思いやりの心の育成へ)
- 授業での読解力育成への自己実践(導入時の工夫、基礎学力の定着をめざして)
- 校内現職教育研修会の満足度・充実感のアップ(他校の研究実践・研究校からの研修)
- 同学年教職員の協力体制確立(日々の出来事の報告・連絡・相談の徹底へ)
- 教職員間の情報共有の遂行(児童や家庭の状況を浅南メモへ、すこやか委員会へ)
- 職員室の風通しの良さ(フラットな相談、話しやすい雰囲気職員室へ)
- 職場の温かい人間関係づくり(助け合い、感謝の気持ちがある教職員集団へ)
- ⇒ 「質の高い学び」「持続可能な学校」をめざして(「先生の幸せ研究所」のサポート)

人間関係力、生きてはたらく力の向上(地域に愛される浅南子)

- 青少年健全育成の推進、家庭や地域との連携
- ・地域の神社、公園での遊び方、使い方の指導 ⇒ 公共マナーの指導
- 地域人材の活用
- ・伝統文化体験、福祉実践教室、田んぼの生き物調査、トンボ教室、水生生物教室
- 学校外活動への参加の呼びかけ(スポーツ大会や文化祭等の公民館活動の奨励)